

# TW I 講習（派遣）のご案内



## 【TW I 講習とは？】

TW I（Training Within Industry for supervisors）とは、職業能力開発促進法に基づく教育訓練として、監督者教育の「原点」として世界的に普及しているプログラムです。監督者に必要な技能を「聞いて学ぶ」だけでなく、課題や事例を用意していただき「やって学ぶ」形で習得していただきます。埼玉県職業能力開発協会では以下の4コース（詳しくは次頁参照）を実施しています。ご都合のよい日程（要相談）にトレーナーを御社に派遣しますので計画的な人材教育が行えます。

## 【コース・内容】

- ◆仕事の教え方 . . . 職場で起こる問題の多くは、知らない、出来ないために起こると言われています。仕事を正確かつ迅速に行えるようにするために、最も効果的な教え方、指導の仕方の習得するコースです。
- ◆人の問題の扱い方 . . . 職場の人間関係を円滑にし、問題を未然に防ぎ、問題が起きてもうまく対応する「人の問題の扱い方」を習得するコースです。
- ◆改善の仕方 . . . 作業の内容を細かくわけて、簡単にしたり、具合よく順序を決めたり、組合せしたりして、材料・機械・労働力を現在よりもさらに有効に活用する方法を習得するコースです。
- ◆安全作業のやり方 . . . 事前に対策を考え、類似・同種災害を絶対に起こさない「安全作業のやり方」手順を習得するコースです。



**埼玉県職業能力開発協会**

Saitama Vocational Ability Development Association

## TWII-JI（仕事の教え方）とは？

【例えば…】



なぜ部下は出来ないのでしょうか?それは教え方に問題があるからです。

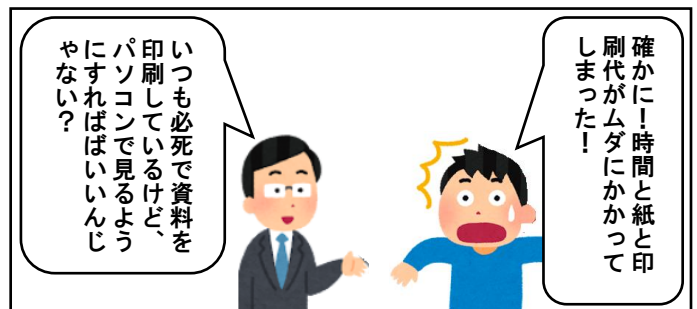
監督者は部下や後輩に『仕事を教える』ことが多いです。その際、しっかりと教える準備をして、時間を取って教えていますか? 忙しさのあまり、「簡単だから見て覚えて」とやって見せるだけの教え方や、「こうやればいいよ」と説明するだけの教え方になっていませんか?

自分はその仕事について詳しく知っていますが、教わる相手にとっては初めての仕事になります。曖昧な教え方になってしまうと、部下や後輩がいざその仕事に就いても「あれ? ここどうやるんだっけ?」「こうすればいいのかな?」となって、結果的に不良品の発生、書類の書き損じ、場合によっては事故や災害につながる恐れがあります。

確実な教え方が出来れば、不良品やミス等が少なくなります。そうなれば、**部下や後輩の育成はもちろんのこと、生産性のアップへと繋がります。**「教えたのに何で出来ないの?」ではありません。相手が出来ないのは監督者である自分が教えなかったことに責任があります。『仕事の教え方』の技法を身につけて、より良い教え方が出来るようになりましょう!

## TWII-JM（改善の仕方）とは？

【例えば…】



技術の進歩とともに業務は効率化していますが、まだまだ改善すべき部分がたくさん残っています。**特にルーチンワークなどは「ずっとこのやり方だから」と改めて見直す機会を失っていることが多いです。**放っておくといつまでたっても改善されず、生産性に影響を及ぼしかねません。とは言え、効率化をするために今すぐ最新機器やソフトウェアを導入するには多くのコストや労力が発生してしまいます。

この『改善の仕方』では、業務に対して何か省ける無駄はないかを見つけ出し、そして他の人や物で代替できないか、または作業の順番を変えてみてはどうか、などといった事を考え出して、それらを基に改善案を導き出す技能です。現在ある労力・機械および材料を有効に使うので、コストや時間をかけずに、生産性をアップするための改善案が導き出せます。いきなり会社の売上が大幅に上がるような改善を目指すのではなく、**まず目の前にある一つ一つの作業を改善を積み重ねて、生産性向上するよう努めましょう。**

## TW I - J R (人の問題の扱い方) とは？

【例えば…】



なぜ部下はトラブルやミスを起こしたのでしょうか？実は人の問題が関係しているかもしれません。

会社の売上目標や生産計画は達成するために、**監督者は、部下と一緒に協力をしながら成果をあげていかなければなりません。**そのために、日頃から**監督者は部下を個人として考え**、さらに仕事ぶりをよく見ながら部下の力を最大限に発揮させて関係を強化していかなければなりません。また、職場内では様々な理由で人間関係がこじれる事があります。監督者は例え他人事であってもそれを放ってはいけません。人間関係の問題は、業務へ直接影響する可能性が高く、生産に影響を及ぼしかねません。

『人の問題を扱う』技能では、監督者は日頃から部下に対してどのように接するべきかその心得を学び、また、職場に何か人間関係に関する問題が発生した際、その問題を解決あるいは小さくするための対応方法を技能として身に付けていただきます。

『人の問題を扱う』ことは、細心の注意を要しますが、決して無視してはいけません。職場や部下の様子に気を配り、事前に感知して事なきを得るようにしていく事が出来れば必ずと部下との関係も強化され、生産性アップへと繋がります。

## TW I - J S (安全作業のやり方) とは？

【例えば…】



ケーブルの片付け忘れだけが問題でなく、彼女が急がなければならなかった事も問題です。事故には必ず様々な原因があります。

「安全第一」という言葉のとおり、仕事をする上では常に「安全」について意識しておかなければなりません。事故が発生するとケガなどをした本人はもちろんのこと、その家族や職場の同僚も辛い思いをします。それだけでなく、事故の規模によっては設備の破損や生産停止、更には会社の信用低下なども起こる可能性があります。**事故には必ず原因があります。その原因を見つけ出して、事前に対策を考えて処置する必要があります。**

『安全作業のやり方』では、事故となる要因を物だけでなく人の側面からも考えて対策を決定・実施する技能を身に付けます。ついつい事故の原因は物にあると考えがちですが、人の面でも非常に重要です。例えば作業員が体調不良にもかかわらず業務をして、事故が発生した場合、これは不運で済まされる問題ではありません。世間からは、なぜ体調不良の作業員をその業務に就かせたのか、と監督者だけでなく会社にもその責任を追及されます。事故には直接的・間接的な原因があります。それらが絡み合うことで事故・災害へと繋がります。それらを断ち切って安全な職場を作っていきましょう。

## 受講料・申込方法などについて

### 受講料

1コースにつき  
会員:70,000円 一般:100,000円  
(消費税・テキスト代等込み)

### 時間

1コース10時間  
\*「安全作業のやり方」のみ12時間  
(例:2時間×5日間or5時間×2日間)

### 定員

各コース 8名迄

### 申込方法

当協会HPからお申込  
([http://www.saitamavada.or.jp/coach\\_training.html](http://www.saitamavada.or.jp/coach_training.html))  
またはお電話にてお申込(TEL:048-829-2803)



←こちらのQRコードからもお申込可能です。

## よくあるご質問 Q & A

### Q, 講習はどのような形で行われますか?

A, 講義だけでなく、実演または発表などをして技能を身に付けていただきます。  
いずれのコースについても受講者には事前準備課題をご用意しております。

### Q, 講習時間を短くすることは可能ですか?

A, 当該講習は職業能力開発促進法で訓練時間が定められているため時間を短くすることは出来ません。

### Q, 受講者が少なくても出来ますか?

A, 可能です。但し、受講料については人数が減っても変わりませんのでご了承ください。

### Q, 講習日程は連続していなくても大丈夫ですか?

A, 大丈夫です。但し、なるべく期間が空かないようお願いいたします。

### Q, 埼玉県外の工場や事業所での実施は可能ですか?

A, 要相談です。その際、受講料とは別にトレーナーの交通費(実費往復分)をいただく場合があります。

**その他、ご質問等ございましたらお気軽にお問合せ下さい。**



**埼玉県職業能力開発協会**

Saitama Vocational Ability Development Association

<http://www.saitama-vada.or.jp/>

〒330-0074

埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5  
埼玉県浦和合同庁舎内

TEL:048-829-2803

FAX:048-827-0071